

南信濃まちづくり通信

第54号 令和2年8月号 2020年8月20日発行

発行：南信濃まちづくり委員会
編集：まちづくり委員会総務委員会
事務局：南信濃自治振興センター
TEL 34-5111

三遠南信自動車道青崩峠道路の工事レポート

県境トンネル掘削進捗は3割程度

遠山谷の新しい時代、希望ある未来に向けて開通が期待されています三遠南信自動車道の工事の進捗状況を報告して頂きました。

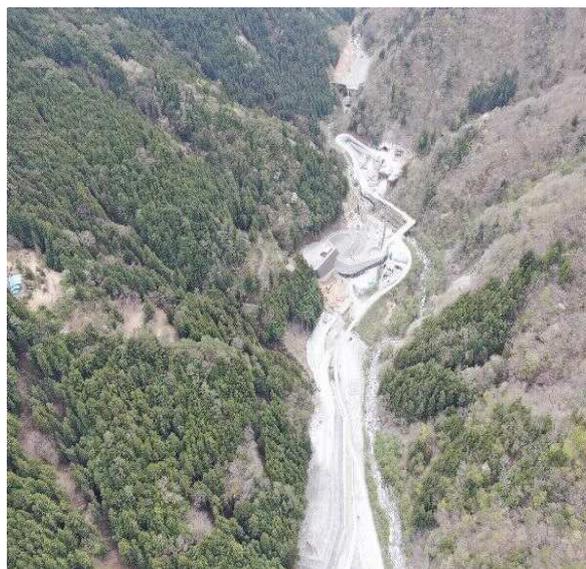
～三遠南信青崩峠道路安全協議会より～

三遠南信自動車道（一般国道474号）は、長野県飯田市山本から静岡県浜松市北区引佐町に至る延長約100kmの高規格幹線道路であり、中央自動車道、新東名高速道路と連絡し、地域間の連携強化を図り、奥三河、遠州、南信州地域の発展に大きく寄与する重要な路線です。

この三遠南信自動車道の一部を成す青崩峠道路は、長野・静岡県境の長野県飯田市南信濃八重河内から静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家に至る延長5.9kmの自動車専用道路です。

青崩峠道路は、日本を二分する大断層である中央構造線近傍に位置し、トンネルを主体とした整備を進めているところであり、現在施工しているのは、トンネル工事、橋梁上部工事、道路盛土工事です。

この中でも工期が長期におよぶ工事は、延長4,998mの県境トンネルです。



小嵐川の狭い谷間に新しい道路がつけられています

現在、長野県側と静岡県側よりそれぞれトンネル掘削作業の施工を行っており、3割程度の掘削進捗となっています。また、掘削により発生する掘削土を利用しての道路盛土工事、小嵐川を渡河する橋梁上部工事を行い、順次青崩峠道路の完成に向け整備を進めています。

工事を進めるにあたっては、安全第一に、品質の向上に努めて参ります。

地域の皆様には、現場見学会の開催や地域のお祭り等のイベントへの参加、小嵐川の清掃活動を行うなどし、交流を図っていきたくと考えています。

最後に、青崩峠道路の工事は、今後工事着手する工区も増え、大型車両など今まで以上に多くなるため、より一層の情報共有、地域住民の方々のご理解が必要となってきます。地域住民の方々との交流を図り、無事故無災害で、少しでも早く工事が完成するよう努めていきますので、引き続きご理解ご協力よろしくお願ひします。

掘削延長が3割ほど進捗の県境トンネル



～みんなで利用して応援しよう！かぐらの湯～

【かぐらの湯応援団】

地区の話題(その15)

お世話になった皆様への感謝
～移住して丸24年～

夜川瀬 工藤 友茂

第2の人生を好きな花栽培をしたいと夫婦で上田市から移住して、この5月で24年になりました。

その頃は、Iターン、Uターンなどと今ほど言われていない時期でした。上田は盆地で冬の寒さが厳しい所なので、春の訪れが早い下伊那の各自治体を探しました。南信濃村もその1つです。それまで名前さえ知りませんでした。ただ、テレビや新聞で「峠の綱引き」行事を観たくらいでした。

2年ほど各地を訪れ下條村にほぼ移住を決めたそんな時、当村より「移住イベントがあるから参加しないか」と誘われました。東京や各地から10数組が参加し、村の様子や仕事の説明があって、説明会後に開かれた懇親会で、村の担当者から「当村も花木栽培で村興しをしたい」と話があり、意気投合し再度訪れ移住を決めました。その時、10数組の方が移住してきましたが、残っているのは私たちだけになりました。

誰一人知り合いがいないこの地で今までこれたのは、その時に知り合った方々が、つらい時に色々と相談にのっていただいたり励ましをもらえたお陰だと思っています。今でも良き相談者です。

トピックス『遠山郷新魅力発見隊』活動報告

『金七滝』の魅力を再認識
～涼しさと滝の美しさにビックリ～

見落としていたり忘れがちだった地域の新しい魅力スポット情報を収集し、遠山来訪者に紹介できるようにしようと、地元有志が集まり『遠山郷新魅力発見隊』(中井真佐子隊長)を結成しました。

同隊の第1弾企画として、お客様との接点が多い旅館や飲食店などの関係者に呼び掛け、8月5日、夜川瀬トンネル近くの「金七滝」見学会を行いました。(参加者 大人19名、子ども23名)

本町の屋外気温が35℃を表示のこの日、金七滝



◇感謝の花をプレゼント◇

5月、地区内外の介護福祉施設、小中学校、保育園、公共機関などに6千本のしやくやくの花をプレゼントした工藤さん。

頭が下がります。

空気や景色が良いからと、それだけでは長続きしません。やはり、人の心が一番だと思います。本当に感謝しています。

私たちも今は、最初の夢だった花栽培と庭木の剪定の仕事で毎日を送っていますが、あまり人が栽培しない野の花を切り花として、JAを通し各市場に出荷しています。

数年後には三遠南信道、中央リニア新幹線も開通し、遠山郷に大きな風穴が開きます。その風を少し止めるのは今から何ができるだろう。少しこの地に滞在していただき、山や川、農地と自然を生かし都会では味わえない体験をし、明日の活力にしてもらえそうな仕掛けづくりはどうかと思います。また、遠山郷は、いつでも美しい草花や樹木を見ることができ、私としては「吹き抜けていく風が強風ではなく、穏やかな心地よい風となってこの郷にとどまりますように・・・」願っています。

今は、新型コロナウイルス禍が一日も早く収束することを願います。



遠山谷には色々な場所にも魅力がある
「滝の魅力にビックリ」金七滝見学会

現地での温度計表示は19℃。

真夏でもビックリするような涼しさと滝のマイナスイオンによって、夏の癒しの時間をつくれるスポットです。

～高齢者などの移動手段の確保に向けて～

乗合タクシーのモデル事業を実施します

まちづくり委員会及び地域福祉プロジェクトでは高齢者等の運転免許証返納後の移動手段の検討をしております。

一方で公共交通による乗合タクシーの運行も遠山郷において6路線ありますが、乗合タクシーの認知度は低く、利用に関しても課題も多く、利用者も限定されている現状です。

このため、地域福祉プロジェクトのめざす移送サービスの検討と併せて、乗合タクシーをいかに地域の皆さんの「足」としてご利用いただくかも検討してまいりたいと考えております。

そして、9月から11月の3カ月の短期間ではありますが、国の「過疎地域等自立活性化推進事業」による生活の安全確保・安心確保対策として高齢者の生活課題（交通問題等）解決に向けたモデル事業を実施することとしました。

事業主体は南信濃まちづくり委員会です。

モデル的に行う地域については予算の関係もあり、木沢地区（須沢線、上島線）をメインに実施予定です。なお、モデル事業は無料をご利用頂けます。

現在、天竜観光タクシーの運行による乗り合いタクシーの須沢線、上島線は運行の曜日、時間が限定されております。このため、従来の運行日などのすき間を埋めるモデル事業として月・火曜日に実施する計画です。

まずはこのモデル事業により地域の皆さんに乗合タクシーを知って頂き、ご利用いただきたいと思ます。

終点の和田地区に降車後は買い物や金融機関、また「かぐらの湯」でゆっくりしていただけたらと思ます。

このモデル事業により2台ではありますが電動歩行補助機器（セニアカー）をご用意しますので、和田地区内の用足しにご活用いただけたらと思ます。

モデル事業の詳細は追って案内チラシなどを該当地区へ各戸配布させていただきますので、皆さんお誘いあわせの上ぜひともご利用ください。

また、従来より運行いただいております須沢線、上島線についても電話予約による運行ではありますが、モデル事業の運行と併せてご利用いただけたらと思ます。

皆さまからの乗合タクシーの利用に関する様々なご意見をいただきながら、従来の乗合タクシーをより使い勝手のいい「地域の足」となりますよう、皆さまのご理解とご協力をお願いします。



*乗合タクシーの利用風景

【お知らせ】

次回のお覧文書の配布予定日は
9月3日（木曜日）です。

南信濃地区の人口

1,283人（男596人、女687人）

世帯数668世帯 ※令和2年7月末現在、住民登録人口による

遠山郷 地域おこし協力隊通信

ゲストハウス“太陽堂”だより



こんにちは、ミトです。太陽堂は7月17日で、営業開始から1年を迎えました。1年目後半はオープン時には想定していなかったいろいろなことが起こる日々でした。しかし、地域の人のバイタリティに刺激をもらいつつ、何とか1周年を迎えることができました。いつも応援してくださる皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。またいろいろ変化が求められる世の中ですが、“あんじゃあねえ”の精神で頑張っていきたいと思います。

2年目の太陽堂もどうぞよろしくお祈りします。



1周年を小さくお祝いしました

<最近の太陽堂>

・大学生のワーケーション滞在



7月中旬、太陽堂には松本大学の学生さんが2名、1週間ほど滞在してくれました。今ほとんどの大学は、授業がオンライン授業に変更になっているそうです。松本大学もすべての授業がオンライン。学生さんは自宅などから毎日授業を受けています。であれば、自宅より快適な環境で過ごしながらか学習する、ワーク+バケーション=ワーケーションを実施してもいいのではないかと、そんなことを松本大学の先生が提唱してくださり、共感した学生2名が太陽堂に来てくれました。毎日、太陽堂でオンライン授業を受けて、夜はみんなで晩御飯。あいにく天気の悪い週だったので、外へ遊びにはあまり出かけられませんでした。私達も楽しい1週間を過ごさせてもらいました。

・遠山郷安寧祈願のご祈祷 in 太陽堂

コロナや大雨などの自然災害、日本中が大変ですが、遠山郷でも災難がつづいています。遠山郷アマビエ様ステッカーの第2弾も作ったので、この際いろいろなものをひっくるめて、ご祈祷をしてもらおうと太陽堂に集まりました。針間さんにご協力をいただき、太陽堂がいつもと違う神聖な空気に包まれた一日でした。アマビエステッカー第二弾は、近く全戸配布を予定しています。早めにほしい方は、太陽堂まで。

